

東海聖書神学塾

塾報

460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター3階

☎・FAX 052-321-7516

E-mail tokai.seisyo.singakujuku@gmail.com

<http://tts.jpn.org>

2015年12月

第62号



「女性奉仕者コース」

東海聖書神学塾 教師
マレーネ・ストラスブルガー

日本では一般的に、女性は社会においてあまり責任を持つことを期待されていません。現在の日本政府は女性の社会的活躍を期待しているが、実際には女性たちも重要なポストに就くことをそこまで求めていないとのアンケート結果もあるそうです。

日本の教会では、8割近くを女性が占めていると言われていています。と同時に彼女たちは、家族や親戚の中で唯一のクリスチャンであり、もちろん隣近所や学校のPTAの中でもそうです。それでも、魅力的なクリスチャンとしてその生き方を通して家族、町、教会に良い影響をもたらしたいと願っています。その為に彼女たちは聖書を学びたいのです。

日本は世界で一番割合的にクリスチャン人口が少なく、未だ全国に福音が届いていない国です。そこでイエス・キリストを信じた女性たちは、どのように効果的に周りの人たちに福音を届けることができるかをもっと知りたいと切望し、それに応える形で2年ぶりに女性奉仕者コースが開かれたと感じています。

この2年間で、女性のクリスチャンとして、教会でも社会でも責任を持って働き仕える道を勉強しながら拓くことを願っています。またクリスチャンの女性として、みことばに立って自信を持つことを覚えることができれば幸いです。

彼女たちの学びは、教会にとっても大きな益となるでしょう。なぜなら、人数的にも多大なインパクトを与えることができるからです。私を含め、学ぶ者また教える者ひとりひとりのためにお祈りくだされば感謝です。

東海聖書神学塾 創立30周年記念企画 「イスラエル聖書旅行」

旅行期間： 2016年3月1日(火)～3月9日(水) 9日間

旅行代金： 343,000円(20名の場合、サーチャージ・空港利用料は別)

団長： 末松隆太郎(JECA栄聖書教会主任牧師、旧約概論担当)

締切間近： 2015年12月25日(金) 定員：30名 ※定員になり次第締切

申込み先： 岩田直子(同盟福音 古知野キリスト教会牧師、塾OB)

TEL&FAX： 0587-55-1590 Eメール： n.iwata@doumeifukuin.com

CS教師研修会



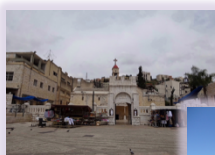
2015年は第22回の開催までの歴史を刻んでいます。子供たちにいかに神様のことを伝えるべきか、如何に子供たちと交わり賛美して神様をほめ讃えるか、CS教師の皆さんの悩みはつきません。東海聖書神学塾がもう何年もこの問題に取り組んでいます。

いつも4/29に開催しています。

今年は分科会を午前も行い、より広く参加できる仕組みを整えました。次回の構想はアンケートにその宝があります。主に感謝！

(基礎科3年河森研一)

イスラエル聖書旅行



いつかはイスラエルに！とお思いのあなた、「今」がチャンスです。ベテランの末松牧師とエルサレム、キブツに暮らした経験のある添乗員さん、またクリスチャンの交わりの中で、みことばの現場を見聞きする旅となるでしょう。既に席の半数が埋まってきました。健康面、金銭面…色々お悩みはあると思いますが、まずはお気軽にご相談ください。

(岩田直子)

秋のリトリート



2015年10月4日(日)夕方から5日(月)午後にかけて、レイクサイド入鹿を会場に開催されました。全体のテーマは「信仰の成長」(御霊の実)でした。夕方には、塾生が半年を振り返って証の時間が持たれ、夜は理事長の河野勇一師から、翌朝は教務主任の鴨下直樹師からメッセージが語られ、良き学びの時となりました。

また、午後は霊的涵養の会として、静思の時間を鈴木健之師が導いてくださいました。先生方と塾生とが寝食を共にして、主を思う貴重なひとときでした。感謝です。

(基礎科3年高島史弘)

公開講座



7月20日に金山教会を会場にして「聖書眼鏡で改憲問題を読む」というテーマで、水草修治師から、集团的自衛権や安保法案等の改憲問題に対する聖書の指針を与えて頂きました。参加者は、神学塾が今迄に開催した一般公開講座で最多の約100名でした。

1月末～2月初めには、毎年「女性公開講座」も開催致します。ぜひご参加ください。

(後藤喜良)

牧師夫人講座

「牧師夫人講座」は、牧師夫人の奉仕のために必要な学びと同じ奉仕をしておられる皆さんの主にある交わりの場です。隔週1度の2年間のコースには長年牧師夫人として奉仕しておられる方々の証しを聞くクラスもあります。今迄に30名程の方が修了しておられます。牧師夫人の皆さん、ぜひ、あなたも「牧師夫人講座」にご参加ください。



下山真理子
春日井福音キリスト教会

私は、主人の卒業式(教職志願者コース卒業)に参加した時に、お誘いを受けたことがきっかけで牧師夫人講座に入塾しました。当時、主人はまだ牧師ではなく、私自身も牧師夫人としての自覚がない時期でしたが、牧師家庭で育ちながらも、聖書についてしっかり学んだことがなく、自分の信仰について自信がなかったこともあり、入塾を決めました。それから1年半が経ち、主人が牧師となり、環境が変わっていく中で、この学びを持っていくことはとても感謝だと感じています。気さくな雰囲気の中で、聖書を今までとは違う角度から学び、牧師夫人とはどんな役割があるのかなどを共に考えたりする時間はもちろん、いろいろな問題に直面した時など、牧師夫人という同じ立場にある姉妹方と交わりが持てることもとても貴重なひとときとなっています。あと半年ですが、この貴重な時間を大切にしていきたいです。



李 淑英
クリスチャン
フレイチャーチャー

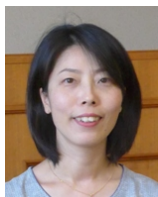
私は独身の時から宣教師として、弟子訓練と伝道という使命をもって日本にきました。そして12年前から家族で日本に来て、主人と牧会をして来ています。ところが、宣教師でありながら、牧師夫人として働かなければならない二重の立場で、戸惑いがありました。日本の牧師夫人としての振る舞いはとても難しかったです。開拓教会だったので、先頭に立たねばならぬ時があり、後ろで支える側になる時もありましたが、そもそも自分は牧師夫人としてふさわしいのだろうか、牧師夫人とはどういう人でなければならないのか、と様々な疑問を持ち、それが切っ掛けで、牧師夫人の学びをすることになりました。隔週なので、時間的にもキツくなく、自分の置かれている環境からしばらく離れて考える時が許された事にまず感謝しています。様々な牧師夫人の証や、交わりが良く、自分を客観的にみる余裕が出来たことに本当に感謝しています。短い学びの時ですが、他の牧師夫人達との交わりの場をもっと作りたいと願いつつ、今日も楽しく神学校に向かいます。



馬場千晶
名古屋猪子石キリスト教会

私が初めて東海聖書神学塾を知ったのは17年ほど前、結婚する前の主人は当時信徒奉仕者コースでの学びを終える頃でした。まさかその塾においていつか自分が学び(しかも牧師夫人講座)に導かれるなどは夢にも思えないことでした。主にある出来事や出会いの1つ1つは奇跡と驚きに満ちている事ばかりだと改めて思われています。学びの2年目も半ばを過ぎてみると多忙な中であっても隔週金曜日の恵みのひとときが楽しみで、牧師夫人として召されている同労の方々とのお交わりや講義(基本教理、教会教育、牧師夫人論、伝道論、カウンセリング等)そして長年牧師夫人として仕えてこられた先生方からの直接的なお話しを通して、気づかさされ励まされ癒されています。主がご用意下さった貴重な機会に心から感謝します。

“それはあなたの恵みが私に対して大きくあなたが私のたましいをよみの深みから救い出して下さったからです。”詩86:13



金 美羅
愛宕山教会

異国の地で留学生時代に救われて、都内で研究職時代に当時伝道師の主人と結婚に導かれ、牧師按手と同時に右も左もわからぬ東海地方に転任し、牧師夫人7年目になります。その間に、環境への不適応から心が病んだこともありましたが、だいぶ落ち着いてきました。神学塾で学びを志すきっかけは夫の勧めです。最初に話を聞いたときは関係ないと聞き流しましたが、再三勧められると強制される気がしました。けれども、これまでの信仰生活を振り返ると、私の嫌がる場所に神様の御心もあったことを気づかさされ、この学びも牧師夫人として、一信仰者として、必要かもしれないと思い、入塾を決心しました。この学びが私にとってどのような意味があるのかまだわかりませんが、毎回の授業で教えられることが多く、これからどのように神様のご計画が成っていくのか楽しみです。



金 恵貞
西尾同盟キリスト教会

不思議な主の導きであると私は受け止め、感謝しています。というのは、自分にとって、この学びはまったく計画になかったことだったからです。私は去年の4月に愛知の西尾にある西尾同盟キリスト教会に来ました。1999年来日以来、ずっと千葉におりましたので、私にとって愛知は初めて住む場所です。当初は慣れないことが多く、戸惑いの毎日でしたが、この地域にもだいぶ慣れて落ち着いてきました。そんな時、夫からこの講座のことを知らされ勧められました。しかし、私は受ける自信はありませんでした。迷っている私に夫は祈ってみて受ける気になったら知らせると言ってくれました。私は以前から神学校で学んでみたいと漠然と思ってはいましたが、まさか、本当に学ぶことになるとは思いませんでした。しかし、祈りの中で、受けてみたいと思うようになりました。私は入塾してよかったと思いました。月2回のこの学びを心から楽しみにし、このような機会を与えてくださった神様に感謝しています

行事報告

- 後期授業を前にした10月4日（日）～5日（月）レイクサイド入鹿にてリトリートを持ちました。
- 河野勇一と鴨下直樹師によって「御霊の実」について学ぶとともに、よき交わりのときを持ちました。
- 10月27日、理事会を開くとともに、塾生を送り出してくださっている教会の牧師と塾の運営委員との懇談会を持ちました。
- 11月23日（祝）には「東海聖書神学塾30周年記念集会」を、栄聖書教会を会場にして持ちました。理事長である河野の記念講演とレセプションを通して、これまでの主の導きと諸教会の支えを感謝しました。また同時に、記念誌『フロンティアⅢ』も発行することができました。
- 今年度の前半では、上沼昌雄師と安藤廣之師と松岡知子師をチャペルに迎えることができました。
- 12月4日（金）に一足早く塾のクリスマス礼拝（説教者：豊橋ホサナキリスト教会の林明信牧師）を持ちます。年が明けて2月初旬には、丸山園子師（同盟・習志野台教会牧師）を迎えての「女性公開講座」を予定しています。

（塾生主任・河野勇一）

教務報告

- 「収穫は多いが働き手は少ない。だから収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい。」マタイの福音書9章38節
- 2016年1月8日（金）入塾説明会を行います。時間は午後二時と五時半の二回です。来年度の入塾を希望される方は、お気軽にお越しください。
- 東海聖書神学塾は随時、見学者を受け入れています。入塾前に授業光景を見てみたいという方は、神学塾にお問い合わせください。

（教務主任・鴨下直樹）

2016年度塾生募集

- 東海聖書神学塾のコースは以下の5つです。
 - 教職志願者コース「牧師、宣教師等に召された人のため/週2、3日の学びで4年程」
 - 信徒奉仕者コース「信徒牧会者・信徒伝道者等のため」
 - * 週2日、昼または夜だけの学びの場合は4年程、昼夜の学びの場合は2年程で修了
 - 女性奉仕者コース「教会の女性奉仕者のため/毎週の金曜日の学びで2年」
 - 牧師夫人講座「牧師や宣教師夫人のため/隔週の金曜日の学びで2年」
 - アドヴァンスコース「牧師（神学塾の卒業生含む）/毎月一度月曜日の学びで1年単位」
 - * 入塾願書をご希望の方は、郵便で当塾へご請求ください。「返信用の切手 92円同封」
- 当塾は教会から推薦された献身者のみを受け入れる方針を堅持しておりますので、入塾希望者は必ず所属教会の牧師の指導を受けると共に、教会役員会で召命と献身を確認して頂き、教会全体の支援を受けて入塾できるように準備してください。
- 2016年度の入塾説明会は 2016年1月8日（金）2時～ と5時半～
同 入塾願書の締め切りは 2016年2月19日（金）必着
同 入塾試験（筆記・面談）は 2016年3月4日（金）1時～（全員）